

Neuro-Tokushima Seminar 2017のお知らせ

本研究会では、今夏も臨床神経生理学の実技セミナーを開催致します。

臨床神経生理学の世界的権威である木村淳先生(アイオワ大学教授・京都大学名誉教授)をお招きし、神経伝導検査と筋電図検査による診断の講義と実技講習を行って頂きます。

また梶龍兒教授(徳島大学神経内科教授)を始め、各分野のエキスパートによる講義を予定しています。

今回は日本神経生理検査研究会 中国四国支部と共同開催で行います。このためハンズオンを例年に比べ、多くの選択肢から選んで頂けることが特色になっております。

●対象：学生、初期研修医、神経内科研修医

20人程度を想定しています。希望者多数の場合は、先着順とさせていただきます。

●日程：2015年8月5日(土)9時50分～18時(その後 大学近隣で懇親会予定)

8月6日(日)9時～12時20分

●内容：(内容および講義担当者は変更となる場合があります)

1日目：神経伝導検査、筋電図の講義、講習(木村淳先生による講義、実技講習を含みます。)

<授業> 『神経伝導検査の実習準備』 (超初級、初級、中級：選択制)

- 超初級：初級をもっとbasicなところから学んで頂く。
- 初級：正中神経、尺骨神経、脛骨神経、腓腹神経の神経伝導検査を実施できる。
- 中級：橈骨神経や腓腹神経などの伝導検査、瞬目反射、反復刺激法(、針筋電図検査)を実施でき、結果を解釈して病状評価ができる。

・筋電図実技特別講習 『電気診断の考え方』

講師：アイオワ大学教授/京都大学名誉教授 木村 淳 先生

<ハンズオン> (common、uncommon：選択制)

※授業、ハンズオンはコース毎に6～7人の小グループをとり検査の進め方や実際の手技を学習します。

※医学生・医師以外の方は高橋修会長の講演をお聞き頂きます。

●ハンズオンの内容

common：median、ulnar、radial、tibial、peroneal、suralのNCSを対象として、NCSの基本動作、破格など評価のピットフォールになる点を学んで頂きます。

uncommon：commonに含まれない神経を対象に、参加者のニーズに応じて手技や評価方法を学んで頂きます。

※1日目のみランチョンセミナーがありますので、昼食はこちらで用意。

2日目：臨床神経学各分野の講義と実習

| | |
|----------------|--|
| ①9時～9時50分 | 不随意運動(梶龍兒教授) ※(医学生・医師以外の方は野寺先生の電気生理診断の講義を受けて頂きます) |
| ②10時10分～11時10分 | 合同ハンズオン第1部 (選択制) |
| ③11時20分～12時20分 | 合同ハンズオン第2部 (選択制) |

合同ハンズオン(選択制)：日本神経生理検査研究会の参加者と合同で行います。

1部、2部を下記の7項目から2つを選択下さい(1部、2部とも同じ内容です)。

| | | | |
|----------------|------------------|--------|--------|
| 神経伝導検査(common) | 神経伝導検査(uncommon) | 反復刺激 | |
| 顔面神経 | 針筋電図 | 神経筋エコー | 痙縮/BTX |

●ハンズオンの内容

- ・common: median、ulnar、radial、tibial、peroneal、sural の NCS を対象として、NCS の基本動作、破格など評価のピットフォールになる点を学んで頂きます。
- ・uncommon: common に含まれない神経を対象に、参加者のニーズに応じて手技や評価方法を学んで頂きます。
(※1日目にも common、uncommon のハンズオンがあります。復習や確認を兼ねて再度選択頂いても結構です。)
- ・反復刺激: 神経筋接合部評価に必要な、尺骨神経、副神経、顔面神経での反復刺激試験の手技、ピットフォールを学んで頂きます。
- ・顔面神経: 顔面神経機麻痺の評価に必要な障害部位の診断、障害程度(予後予測)に必要な電気生理学的主義、評価方法を学んで頂きます。
- ・nEMG: 針筋電図で評価する項目とその手技、筋肉の選択、主な筋肉の表面解剖について学んで頂きます。
- ・神経筋エコー: common な筋や神経、神経根の観察方法、病態別の超音波所見について学んで頂きます。
- ・痙縮/BTX: 脳卒中後の痙縮の病態についての診断、理解と BTX 治療について学んで頂きます。

●参加を御希望される方は、7月3日までに以下の内容を別紙エントリーシートに”もれなく”記載し、下記アドレスへメール添付して下さい。

- 1) 氏名(ふりがな)、所属施設、役職
 - 2) 連絡先(携帯電話番号、メールアドレス)
 - 3) 神経伝導検査の施行頻度と経験年数(実技講習のグループ編成時に参考にします)
 - 4) 参加希望日(1日のみの御参加も歓迎します)
 - 5) 1日目の授業(超初級 or 初級 or 中級)とハンズオンの選択
 - 6) 2日目のハンズオンを2つ選択(人数調整しますので御希望に沿えない場合があります。)
- ※1日目、2日目それぞれ2つずつ選択頂きますのでもれがないようお願い致します。
- 7) 懇親会参加の有無 (ぜひ参加の程お待ちしております)

※エントリー締め切り後に詳細なプログラムをメール致します。

- 場所：徳島大学病院
- 費用：テキスト代 3,000 円（学生無料・初期研修医は 1,000 円）
懇親会費 3,500 円（学生無料・初期研修医は 1,000 円）
※当日受付で徴取させていただきます（領収書も同時に発行致します。）
- お問い合わせ先：徳島神経免疫研究会（徳島大学神経内科）
〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町 3 丁目 18-15 電話番号 088-633-7207
担当：山崎 [e-mail:neurotokushima@yahoo.co.jp](mailto:neurotokushima@yahoo.co.jp)

- 主催：日本製薬株式会社
徳島神経免疫研究会
共催：日本神経生理検査研究会 中国四国支部

今回の summer seminar は日本神経生理検査研究会 中国四国支部との合同開催になっております。

医学生・研修医・医師以外の方は下記の URL にアクセス、「勉強会・研修プログラム など」の topics 欄で 6/8 以降に公開される募集に沿って申し込み下さい。

URL : <http://jsgn.umin.jp/>